

令和6年度 第2回岡山市都市・消防政策審議会

と き 令和7年3月21日（金） 14:00～17:00

ところ 岡山市勤労者福祉センター 5階 第3中会議室

出席委員 西山会長、中村副会長、川井委員、佐藤委員、谷川委員、堀委員、  
本田委員、松本委員

岡山市 都市整備局

今井都市整備局長、鈴木都市・公園担当局長

難波都市整備局次長（都市・交通部長）

是友道路部長、大森住宅・建築部長

江川庭園都市推進課公園緑地担当課長、渡辺道路計画課長、船守住宅課長

ほか

下水道河川局

内海下水道河川局長、浦田下水道河川局次長、荒木下水道施設部長

都築下水道河川計画課河川防災担当課長 ほか

事務局：都市企画総務課

●議 事

1. 保存樹の新たな指定について

表記の件について、資料を基に説明。

○意見等

（意見）現在62本の保存樹が指定されているが、どこで確認できるか。

（回答）市ホームページにて、指定保存樹62本すべての位置や樹種等を掲載している。

○審議結果 新たな指定について承認する。

2. 住宅事業に係る再評価について（岡山市中心地区地域居住機能再生推進事業）

表記の件について、資料を基に説明。

○意見等

（意見）市営住宅はバリアフリーに配慮されているか。

（回答）エレベーターの設置に加え、玄関、浴室、洗面所、トイレ、共用階段等に手すりを設置し、居室の廊下等の動線にも将来手すりを設置するような補強等も行っている。

室内については、段差を基本的になくすようにしている。

水栓はシングルレバーで混合水栓に対応している。

障害者対応住戸については、玄関扉は自閉式片開きのハンガードアを整備している。

○審議結果 岡山市中心地区地域居住機能再生推進事業を継続する市の対応方針を承認する。

3. 岡山市みちづくり計画の中間評価について

表記の件について、資料を基に説明。

○意見等

（意見）全国的に旅行速度が低下している原因はなにか。

（回答）コロナ禍の影響で三密を回避するため、公共交通機関から自動車へ移動手段が転換したと推測される。

○審議結果 岡山市みちづくり計画の中間評価は妥当である。

自転車利用環境の整備を重点的に進めていくこと。

4. 県道 岡山牛窓線の事業事前評価について  
表記の件について、資料を基に説明。
- 意見等  
(意見) 地上機器はどこに設置されるのか。通行や見通しに影響はないのか。  
(回答) 自転車歩行者道は4mあり、そのうち3mが通行帯、残り1mが植栽となっている。地上機器は植栽部分に設置する予定であるため、安全性は問題ないと考えている。
  - 審議結果 当路線の事業化は妥当である。
5. 市道 藤田浦安南町線の事業事後評価について  
表記の件について、資料を基に説明。
- 意見等  
(意見) B/Cが前回評価時から変化した要因について教えてほしい。  
(回答) B/Cの算出では、その時点で最新の交通量データを用いており、前回評価時と今回評価時とでB/Cが異なるのは、算出に用いた交通量の年次が異なることが主な要因である。
  - 審議結果 当路線の事業事後評価を承認する。
6. 一級河川 吉井川水系永江川における河川整備計画の策定及び事業再評価について  
表記の件について、資料を基に説明。
- 意見等  
(意見) 平成28年以降事業が休止していた理由として、用地の問題があったとのことだが、今回の計画ではその問題が解決できるのか。  
(回答) 用地の問題が完全に解決できる状態ではないが、解決した際に事業を推進できるように、計画を策定しておく必要がある。  
(意見) 重要な事業だと思うので、用地交渉について粘り強く進めてほしい。  
(回答) 用地交渉については今後も継続していく。
  - 審議結果 河川整備計画について承認する。  
計画を継続とする市の対応方針は妥当である。

(以下余白)